

8日目 5月4日

会 場： 県立浜山球場

第2試合		～決勝戦～ (9回サヨナラ)																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
立正大淞南		0	1	0	0	0	1	0	0	0							2	8	1
大 社		0	0	1	0	0	1	0	0	1x							3	9	0
(投手―捕手)																			
・ (淞)		山下 ― 勝部																	
・ (大)		安松 ― 石原																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (淞)														山下					
・ (大)		藤原						小村											
(審判)〔球審〕		中島				〔一塁〕林				〔二塁〕宮野				〔三塁〕門崎					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(淞)	37	8	2	0	0	0	3	3	1	2		1		1	0	0	0	0	
(大)	41	9	3	1	1	0	2	4	2	0		0		0	0	0	0	0	

### 「大社、4年ぶり春制す！」

決勝戦は春2連覇を狙う立正大淞南が挑む対戦となった。両校のエースともに140km/h以上を記録する投手戦になった。

先に先制の好機を迎えたのは大社だった。初回到2死から連打と四球で満塁としたが後続が続かず無得点に終わる。すると直後の2回表に4番山下が真ん中低めの直球をライトスタンドへ運び、本塁打で立正大淞南が先制する。大社は3回到先頭と小村が右中間を破る3塁打で好機を作ると、石飛がセフティースクイズを決め同点に追いつく。更に1死1・3塁で藤田がセフティースクイズを仕掛けるも相手投手の好守備に阻まれ勝ち越しはならなかった。

後半に突入した6回表、井田が四球で出塁すると盗塁を決め勝ち越しの好機を作る。続く藤本がライトへの適時打を放ち立正大淞南が再び勝ち越しに成功する。しかし、大社も6回裏に藤原の2塁打で同点の場面を作ると、井上が二遊間を破る適時打を放ちすぐに同点とした。

立正大淞南は9回到安打と犠打に加えて3塁への盗塁で2死3塁とし、今大会3本塁打の酒井を迎えたが遊撃手へのゴロに倒れる。すると直後の9回裏に先頭の安松が安打でチームを鼓舞すると犠打でサヨナラの場面を作る。その後2死2塁となり、藤江を申告敬遠し石原勝負を選んだが結果は四球で2死満塁となった。最後は藤田が内角の直球に詰まりながらも振り抜くと遊撃手後方に落ちるサヨナラ打となった。今大会はゴールデンウィーク中の決勝戦ということもあり、大社は観客の大声援の後押しを受けて2019年春以来の優勝を飾った。

